



特 集

- 第 16 回 定時社員総会を開催
- 参加報告: Esomar APAC 2026 in Tokyo

TOPICS

- JMRA アニュアル・カンファレンス 2026:
テーマは「OPEN INSIGHT」に決定
- ビッグ・データ分析手法研究会 研究成果発表

Vol.104

2026/6/16 配信

6 月も終わりに近づき、いよいよ本格的な夏が到来しつつあります。関東・近畿では 6 月上旬に梅雨入りが発表され、蒸し暑い日々が続いていますが、平年では 7 月中旬頃に梅雨明けを迎えます。

今年の梅雨は降水量が平年並みか多くなると予想されており、局地的な大雨や線状降水帯への警戒も引き続き呼びかけられています。

こうした気候の変化は、外出行動や購買意識、さらには企業活動にも大きな影響を与えます。近年は気温や降雨といった気象要因が消費行動を左右するケースも増えており、生活者の変化をいち早く捉えるマーケティング・リサーチの重要性はますます

ます高まっています。今月号でも、JMRA の取り組みとともに最新の業界情報をお届けします。

＜JMRA ウェブ・メルマガ委員会＞

[メルマガ登録について詳しくはこちら](#)

特 集

第 16 回 定時社員総会を開催

2026 年 5 月 26 日に一般社団法人日本マーケティング・リサーチ協会 第 16 回定時社員総会を開催し、議案と報告が承認されました。

これを受けて、五十嵐幹会長より、活動方針や業界の展望が述べられました。

[詳しくはこちら](#)

特 集



参加報告: Esomar APAC 2026 in Tokyo

(2026 年 5 月 27 日・28 日・29 日)

Esomar APAC (Asia Pacific Conference) は、マーケティングリサーチ・インサイト業界のプロフェッショナルによる国際的業界団体である Esomar が世界各地で開催する国際カンファレンスの一つです。Esomar は、国際的な倫理綱領やガイドライン、業界統計、政策提言を通じて、マーケティングリサーチ・インサイト産業の信頼性と発展を支える役割も担っています。

日本では 10 年ぶりの開催で、2026 年 5 月 27 日から 29 日までの 3 日間、約 40 カ国から 340 名超の参加者が集まり、ヒルトン東京お台場にて開催されました。

Esomar のカンファレンスは、この業界変革に世界がどう向き合っているのかを学ぶ貴重な機会です。その中で特に印象に残ったことを紹介します。

[詳しくはこちら](#)

TOPICS



JMRA アニュアル・カンファレンス 2026

テーマは「OPEN INSIGHT」に決定

2026 年 10 月 22 日(木)にベルサール渋谷ファーストにて「JMRA アニュアル・カンファレンス 2026」を開催します。

本年のカンファレンステーマは「OPEN INSIGHT — 人と AI がひらく、情報価値の最大化 —」に決定いたしました。

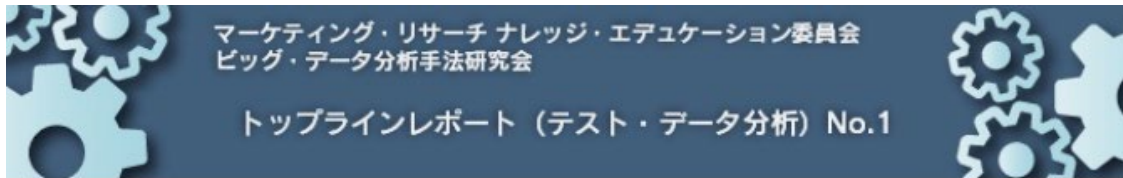
2025 年の創立 50 周年に策定した「マーケティング・リサーチ産業ビジョン」を踏まえ、2026 年は「情報価値の最大化」を実践する最初の 1 年と位置づけています。

本テーマには、生活者のインサイトを多様なステークホルダーへ共有し、企業課題から社会課題へと視野を広げて主体的に向き合う「オープン化」の推進に加え、人と

AI の共生によるインサイトの質とスピードを向上させ、競争ではなく「共創」によって業界全体で価値最大化に挑むという想いを込めました。

講演内容や申し込み方法については 7 月以降順次ご案内予定です。

TOPICS



ビッグ・データ分析手法研究会 研究成果発表

「トップラインレポート(テスト・データ分析)No.1」を公開

「ビッグ・データ分析手法研究会」は、2023 年 8 月から分析手法の検討を開始し、24 年 1 月に正式発足しました。当研究会では、実態を正確に反映した科学的な分析結果の探求と、分析手法自体の信頼性・妥当性の検証に取り組んでいます。このたび、研究の第一歩として SNS・口コミデータを対象とした小規模データによる実証研究レポートを公開しました。データは株式会社マイスタースタジオ様の口コミ探索サービス「みんなのレビュー」から提供を受けています。

本レポートでは、具体的な口コミデータを題材に試験的な手法で検証した結果を、分析の流れや用語解説を交えて分かりやすくまとめています。また、再現や実務への応用が可能となるよう、実際に使用した R コードも公開しています。さらに、日本マーケティング・リサーチ協会監修のリサーチとデータ分析を実務的に学ぶためのテキスト書籍を併せて活用することで、より理解を深めることができます。

当研究会は今後も研究活動を継続し、成果がまとまり次第「No.2 レポート」として順次公開していく予定です。ぜひ皆様の研究や実務にお役立てください。

[詳しくはこちら](#)

連 載

JMRA マーケティングデータ・ストレージ ピックアップセレクション

最近 JMRA マーケティングデータ・ストレージに掲載された会員社の自主調査から、ウェブ・メルマガ委員会が精選した自主調査をご紹介します。



今月の注目調査

●平成リバイバルに関する調査
(2026.5.11 (株)ネオマーケティング)
SNS 等で話題の「平成リバイバル」に関する調査レポートです。約 4 割が「当時の記憶に癒やされる」と回答。かつて買えなかった憧れを手に入れる満足感など、いま平成コンテンツが支持される理由と魅力を紐解きます。

詳しくはこちら(JMRA マーケティングデータ・ストレージ)



今月の注目調査

●Z 世代のシェービング剤使用実態を徹底分析！タイパ・コスパ重視世代を動かすヒントとは？
(2026.6.4 (株)マクロミル)
マクロミルと二松学舎大学の共同調査による、Z 世代の「シェービング剤使用実態」レポートです。男女別の使用率や使い始めるきっかけ、非使用者の本音等を調査。若年層のグルーミング市場を広げるヒントを分析しています。

詳しくはこちら(JMRA マーケティングデータ・ストレージ)

教育講座・セミナー案内



マーケティング・リサーチ ベーシックコース
(春季)
2026年5月1日(金)～6月30日(火)

●マーケティング・リサーチ ベーシックコース

本講座は、初めてマーケティング・リサーチ業務に接する人から 3 年程度の業務経

験を重ねた方の、リサーチの全体像の知識取得と理解を目標として開講するものです。

講座の内容は、マーケティング・リサーチの基本である、定量調査と定性調査の基礎を理解し、マーケティング・リサーチの全体を俯瞰して体系的に学びます。そのうえで、調査の各工程は有機的に結合し、ある工程の成果は次の工程に大きく影響することを踏まえて、各工程に従事する人が、調査の全工程を含む知識を有することができるものとなっています。

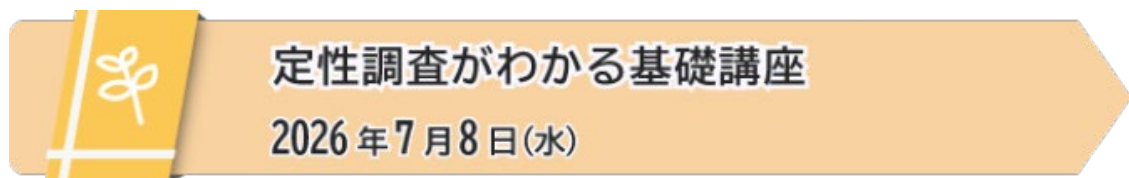
また、定量調査の解説に多くの事例を紹介し、より理解しやすくなるように編集をいたしております。

マーケティング・リサーチの実務を担当して日の浅い方や調査の基本を知りたい方、また、調査の営業・企画担当者に受講をお勧めします。

・日程(視聴期間):2026年5月1日(金)10:00~6月30日(火)17:00 まで

・会場:オンデマンド+フォローアップ講座

[詳しくはこちら](#)



●定性調査がわかる基礎講座

実務経験豊富な講師陣が、体験に基づいた定性調査の魅力と基礎知識をぎゅっと凝縮してお伝えします。

これから定性調査に取り組もうという方、定性調査のプロジェクトを進める上でのビギナーやアシスタントの役割を担う方、また、定性調査を担当するようになったものの、いまひとつ確信がもてないと感じておられる方にも、ぜひご参加いただきたいオンライン講座です。

定性調査のおもしろさ、醍醐味、実務の流れ、設計上必要なこと、注意点を、講義とワークとQ&Aで、体感的に学べます。

・日程:2026年7月8日(水)10:00~16:00

・会場:Zoom ミーティング

[詳しくはこちら](#)



●AI 活用・情報交流会(2026 年 7 月度・第 12 回)

AI 活用・情報交流会は、JMRA インターネット調査品質委員会が主催する「AI の活用と今後の業界」について語り合う情報交流会です。AI の最新の動向を共有しながら、これからのリサーチ業界がどのように変化していくのか、これからのリサーチャーに求められることなどについて、業界の多くのリサーチャーが共に考える機会としたいと思います。

今回の AI 活用・情報交流会は、AI と業界に関わる最新情報をさまざまな観点から共有します。

- 1)AI 最新情報共有
- 2)Esomar APAC 参加報告・発表内容の紹介
- 3)AI によるリサーチソリューションサービスのご紹介

お楽しみに！

・日程:2026 年 7 月 9 日(木)18:00~20:00

・会場:Zoom ミーティング

[詳しくはこちら\(外部サイト:Peatix\)](#)



定性調査 実務に役立つ企画力養成講座

2026 年 7 月 15 日(水)・22 日(水)・29 日(水)・8 月 5 日(水)

●定性調査 実務に役立つ企画力養成講座

調査意図を見極めて、分析的な視点で企画する力を身に付けます。

企画は調査の羅針盤です。企画をしっかりと考えることは、調査そのものの価値を上げ、役に立つアウトプットを導くことに繋がります。

本講座では、クライアントのマーケティング課題を、調査目的→調査課題→調査項目と整理し、フローにつなげる流れを体系的に学びます。実際の実務の中で「シマッタ！を無くしたい」、「より満足度の高い定性調査にしていきたい」、そんな方々にご参加いただきたい講座です。

実際に直面するような事例を使った実践的なワーク体験で、考える力を身に付けます。

複数の事例で、考える＆実践的なワークを通して学びます。

まず個人で考え、次に少人数のグループでディスカッションという組み合わせでワークを行うことで、知識をしっかりと腹落ちさせます。

・日程:2026 年 7 月 15 日(水)・22 日(水)・29 日(水)・8 月 5 日(水)

・会場:7 月 15 日(水)11:00～17:00 JMRA 研修室

7 月 22 日(水)・29 日(水)・8 月 5 日(水)13:00～17:00 Zoom ミーティング

[詳しくはこちら](#)

お知らせ

●第 16 回定時社員総会資料を掲載しました

5 月 26 日(火)に開催しました第 16 回定時社員総会の資料を公開しました。

承認された 2025 年度収支決算のほか、2025 年度事業報告及び 2026 年度事業計画を掲載しています。

[詳しくはこちら](#)

●マーケティング・テクノロジーフェア 大阪 2026 登壇報告

JMRA の和田雅直事務局長は、「マーケティング・テクノロジーフェア 大阪 2026」に登壇し、「AI で見失わない、マーケティング・リサーチ -人の仮説構築力・修正力・判断力が事業を決める-」と題した講演を行いました。

約 30 名の聴衆に対し、「AI 普及とマーケティング・リサーチの変化」「マーケット把握・仮説修正・判断とリサーチ」「人間が担う仮説構築・修正・判断の価値」「AI 時代に見失いたくないこと」という体系的な視点から、JMRA 会員各社の事例を踏まえて解説しました。

講演ではまず、マーケティング・リサーチ業界における AI との共生事例として、「インターネット調査のプロセス自動化」「戦略仮説導出の迅速化」「AI エージェントによる定性調査の自動化」などを紹介しました。

続いて、「問いを立てる(初期仮説の構築)」「違和感を察知して仮説を修正する」「事業の方向性を決断する」といったプロセスこそが人間ならではの価値であり、リサーチ各社もクライアントとの対話を通じて提供価値の幅を広げていると言及しました。最後に、AI 時代に見失ってはいけない観点として、生活者やデータ提供者との「信頼関係」の重要性を指摘。改訂された「マーケティング・リサーチ綱領」に基づいたメッセージを伝え、講演を締めくくりました。

●7 月号は 7 月 22 日(水)発行予定です

巻末コラム 小さなオフィスから

生活者にも事業者にも AI が浸透する時代、私たちはどう価値を高められるか。5 月下旬に大阪でお話しする機会がありました。

準備のため、各社の最新事例を拝見し、クライアントのリサーチへの期待はデータ収集・提供に留まらず、言葉にならない仮説の言語化から、リサーチによる仮説修正、そして事業判断へのインスパイアまで、カバーする動きが生まれていることに気が付きました。

テクノロジーが進化するからこそ、仮説構築や判断といった「人の役割」が重要になる。変化が大きい今、人との対話に向き合うことで、納得できる新しい価値を提供できる時代になっているのかもしれない。

◆このメールはメルマガをご登録されている方に配信しています。

◆配信停止を希望される方は以下よりお願いいたします。

https://y.bmd.jp/bm/p/f/s.php?id=jmra_mm1130&mail=aso%40jmra-net.or.jp&no=360503

※JMRA セミナーを受講中の方、JMRA の会員窓口ご担当者様、委員会等に参画されている方が本機能により配信停止を行った場合、セミナーや委員会等に関するご案内も併せて停止されます。メルマガ以外のご案内を引き続きご希望の場合は、以下の配信元アドレスまでご連絡ください。

◆このメールは送信用アドレスから配信しているため、ご返信いただいてもお答えできませんのでご了承ください。

◆プライバシーポリシーは [こちら](#)をご覧ください。

◆配信元：一般社団法人日本マーケティング・リサーチ協会

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町 1-9-9 石川LKビル 2 階

<https://www.jmra-net.or.jp/>

office@jmra-net.or.jp

あなたの中に未来がある。